

「未来のにいがた」といわれて、まず考えるのは、大都市のように交通網が発達してビルが立ち並んだり、人口の増加とともに住宅地や団地が増えたりしていることです。新たに新潟市に合併した市町村にも様々な建物が増えてきました。

しかし、僕は田畑を埋め立てる上に、今住んでいる地域の自然や産物を削っていくことはしてほしくありません。今の新潟市は人口81万人の大都市のようだけど、各地域にはまだ自然がたくさんあります。時代は変わっていくから、当然新しいものが生まれ、それが取り入れられていきます。そして引きかえに何かを取り除かれていきます。今後、政令指定都市になったりして人口が増えると同時に、つい最近まで市町村だった地域の緑が少しずつ減っていくのは必然的なのかとも考えてしまいます。でも少しでも多くの自然を未来に残してほしいと思います。

自然といえば、新潟県は水が最も豊富な地域の一つで、新潟市には信濃川や阿賀野川など、日本で大きいとされる河川が複数流れています。また、新潟市は港町としての歴史も古く、昔から国際的にも大きな役割を果たすところとされてきました。このことはとてもいいことだし、嬉しいことでもあります。これからは韓国や中国や北朝鮮、また姉妹都市のあるロシアなど、様々な国と国交を深めてほしいです。現在、考え方の違いによる問題から、ぎくしゃくした関係にある国もあります。

将来は、どんな新潟になっているのか誰も分からないけど、今新潟が抱える問題が解決に向かい、政令指定都市でも緑の多い、誰もが考える理想的な「にいがた」になっていることを願っています。